

株主通信 vol.44

RYOWA REPORT

空気と水のテクノロジー

第73期 業績のご報告

2021年4月1日～2022年3月31日

- ① ごあいさつ／トップインタビュー
- ④ 施工実績
- ⑤ テクノ菱和の技術の紹介
- ⑥ テクノ菱和のCSR
- ⑦ 連結財務情報
- ⑨ 会社概要／株式の状況

空気と水のテクノロジー

株式会社 **テクノ菱和**

証券コード 1965

株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第73期(2021年4月1日から2022年3月31日)の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員

黒田 英彦
Hidehiko Kuroda



経営理念

「空気と水のテクノロジー」を通じて
環境にやさしい生活空間の創造を目指す。

環境エンジニアリングを中核事業とし、
ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す。

人材の育成・教育を重視し
働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する。

行動規範三訓

逞しい心身の鍛錬

意志疎通の徹底

技術力の研鑽

Q 当期の建設業界を取り巻く環境は
いかがでしたか？

A 当期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかで、感染症の流行状況に応じて個人消費は増減を繰り返し、好調な海外需要を背景に輸出は堅調に推移したものの、資源価格の高騰や感染の再拡大が企業収益を圧迫し、改善が続いていた景況感にも一服感がみられるなど、景気は一進一退の動きとなりました。

建設業界におきましては、公共投資は、前期と比べ減少となりましたが、設備投資は、国内外の経済活動の持ち直しにより、先送りしていた投資を徐々に再開する動きがみられたことから、前期をやや上回る水準となりました。

Q 当期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの連結業績は受注高59,603百万円、売上高56,905百万円、営業利益3,013百万円、経常利益3,385百万円、当期純利益2,237百万円となりました。

当期における受注状況は、複数の大型物件を受注できたことから前期を上回る結果となりました。売上高につきましては、工事の進捗が順調に推移したことから前期より増加し、利益につきましても、採算性の高い工事が完成を迎えたことや工事粗利益率の改善により、前期と比べて増益となりました。

	当期 (百万円)	前期 (百万円)
受注高	59,603	56,187
売上高	56,905	54,871
営業利益	3,013	1,709
経常利益	3,385	2,128
当期純利益	2,237	1,234

(注) 本報告書において、当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します。

Q 来期の方針を教えてください。

A 来期につきましても、引き続き中期3か年事業計画に則り、医薬品・食品・電子デバイス関連をはじめとする産業設備工事を中心にバランスの取れた受注を推進し、景気動向に左右されない事業基盤の確保に努めてまいります。また、当期に策定したマテリアリティ（重要課題）への取組みを推進し、SDGsの達成を目指すとともに、脱炭素社会の実現に向けて、GX（グリーントランスフォーメーション）に対応することで、「環境のトータルエンジニアリング」企業として、環境問題への取組みをより深化してまいります。さらに環境に配慮した新しいビジネスモデルを探るとともに、海外事業の足場固めを進め、収益源の多様化にも挑戦してまいります。

Q 来期の業績見通しを教えてください。

A 今後のわが国経済は、コロナ禍で落ち込んでいた経済活動が徐々に正常化に向かい、先進国を中心とした海外需要も堅調なことから、景気は回復に向かうものと思われませんが、ロシアによるウクライナ侵攻の影響が長期化することで資源価格が一段と高騰し、世界経済が大幅に下振れするリスクをはらんでいます。

建設業界におきましては、公共投資は当期並みで推移し、設備投資は企業の積極的な投資姿勢が維持され、回復基調が続くものと見込んでおりますが、感染症やウクライナ情勢の動向によっては、減少に転ずる



可能性もあり、予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような状況を踏まえ、来期の連結業績見通しにつきましては、受注高60,000百万円、売上高60,000百万円、営業利益2,270百万円、経常利益2,500百万円、当期純利益1,630百万円を見込んでおります。

	来期予想 (百万円)
受注高	60,000
売上高	60,000
営業利益	2,270
経常利益	2,500
当期純利益	1,630

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 当社グループといたしましては、引き続きバランスの取れた受注を推進するとともに、部門間の連携を強化してお客様のニーズに機動的に対処することで、激化する競争環境に対応してまいります。また、働き方改革につきましても、DXの推進による業務効率化を図り、ワークライフバランスの実現と、誰もが生き生きと働ける職場環境づくりに取り組んでまいります。

当期の期末配当金につきましては、業績ならびに今後の事業展開等を勘案いたしました結果、1株につき20円とし、年間では前期より4円増配となる1株につき32円とさせていただきます。

なお、中期3か年事業計画（2022年3月期～2024年3月期）の期間中におきましては、1株当たり32円以上の年間配当金を安定的に継続することとし、利益成長に応じて配当を増額する方針としております。

当社グループのより一層の発展に向けて、全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

大阪中之島美術館



概要	
完成年月	2021年6月
施工地	大阪府大阪市
建物用途	美術館
延床面積	20,012.00㎡
物件形態	地上5階
工事範囲	空調・給排水設備工事

本物件は、1990年に準備室が設置されてからおよそ30年の時を経て、大阪の中心である中之島に建設された黒い外観を特徴とする美術館であります。本施設には国内外の代表的な近代・現代美術作品を核としながら、地元大阪の芸術活動にも目を向け、6,000点を超えるコレクションが所蔵されております。また、関西最大級の展示室が備えられており、様々な展覧会に対応できる空間設計となっております。

学校法人日本医科大学 武蔵小杉病院



概要	
完成年月	2021年7月
施工地	神奈川県川崎市
建物用途	病院
延床面積	32,275.29㎡
物件形態	地上9階
工事範囲	換気・衛生設備工事

本物件は、同法人の武蔵小杉キャンパス再開設計画として、老朽化した旧病院を取り壊し、隣接地に新たに建設された新病院であります。川崎市におけるがん治療の拠点施設となれるよう、最先端の装置が導入されるなど、医療体制の充実が図られております。また、屋上にはヘリポートが設置されており、災害拠点病院としての役割を担う施設となっております。

豊田合成東日本株式会社 宮城大衡工場



概要	
完成年月	2021年11月
施工地	宮城県黒川郡大衡村
建物用途	工場
延床面積	8,217.06㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・給排水衛生・ユーティリティー設備工事

本物件は、東北地域における生産体制強化のため新たに建設された自動車部品工場であり、自動車のフロント部分に装着するラジエータグリルなどの大型の樹脂塗装製品が生産される予定となっております。工場内には最新の塗装設備や協働ロボットなどが導入され、効率的なモノづくりが追求されるとともに、再生可能エネルギーの活用など環境にも配慮した設備設計となっております。

和歌山城ホール



概要	
完成年月	2021年10月
施工地	和歌山県和歌山市
建物用途	劇場・ホール
延床面積	14,110.10㎡
物件形態	地上5階、地下1階
工事範囲	空調・給排水設備工事

本物件は、旧市民会館の老朽化に伴い、和歌山城のすぐ北側に新たな市民会館として建てられた施設で、城下町としての歴史的景観に調和したデザインが取り入れられた建物となっております。施設内には大小2つのホールや展示室をはじめとする様々な活動スペースが備えられており、地域の芸術文化を創造・発信していく文化拠点となっております。



テクノ菱和の技術の紹介

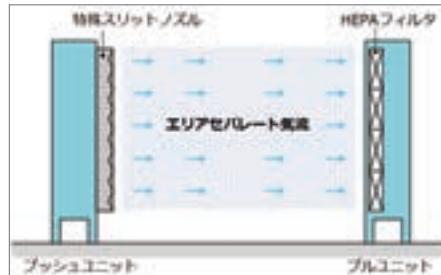
私たちテクノ菱和は「空気と水のテクノロジー」を基本理念として、お客様のニーズに応える最適な環境システムの提供を目指し、新しい技術の研究開発に取り組んでおります。今回はそのなかから、当期に開発した「エリアセパレート気流」についてご紹介いたします。

研究開発 エリアセパレート気流

新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、当社は気流によって対面会話空間を分割し、感染症の空気感染リスクを低減させる「エリアセパレート気流」を開発いたしました。本システムは風を吹き出すユニットと吸い込むユニットで構成され、2つのユニットから生まれる直進性のある気流により咳飛沫などを遮蔽します。また、気流を風速2m/s程度の低速とすることで低騒音を実現しています。診察室だけでなく受付などにも設置でき、アクリルパネルやビニールカーテンの不快感を解消することが可能です。2022年度中の実用化を目指し、研究開発を進めてまいります。



エリアセパレート気流の可視化



システム構成

「業務用エアコンの能力診断」ページを作成しました!

当社ウェブサイト内に空調負荷の値や電気料金を簡易的に算出できるページを新設いたしました。このページは設置場所の用途と床面積を入力することで空調負荷を計算できるものです。さらに細かい条件を設定することも可能で、空調負荷に見合う能力のエアコン選定や電気料金がどのように変わるかの比較検討に利用できます。



Check! 詳しくはこちらをご覧ください
(<https://www.techno-ryowa.co.jp/select-package/>)



テクノ菱和のCSR



私たちテクノ菱和は、すべての事業活動を通じてステークホルダーのみなさまに対して、価値を創出し信頼を獲得していくことで、社会全体と共に持続的に成長していくことを目指し、継続的なCSR活動に取り組んでおります。今回は、当社のCSR活動の一部をご紹介いたします。

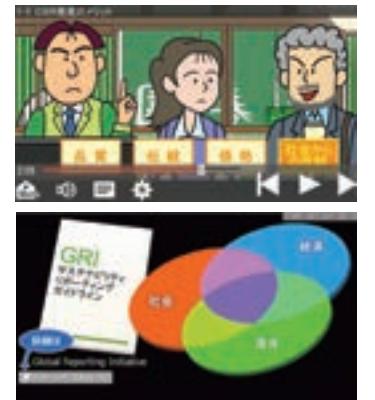
「国連グローバル・コンパクト」への署名

当社は、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト（以下、UNGC）」に署名し、本年1月に参加企業として登録されました。UNGCとは、各企業・団体が持続可能な成長を実現するための自発的な取組みであり、UNGCが掲げる4分野（人権、労働、環境、腐敗防止）10原則の実践を参加企業・団体へ求めています。当社はこれら10原則を遵守・実践していくことで、サステナブルな社会と経営の実現に向けて貢献してまいります。



コンプライアンス教育の実施

当社は法令遵守はもちろんのこと、社会的規範や企業倫理に基づいて、自己管理していく仕組みが当社のCSRを支える土台であると考えており、各事業所での勉強会やeラーニング研修を定期的実施し、コンプライアンスの意識づけに取り組んでおります。また、本年は日常業務遂行にあたっての行動準則を示す「コンプライアンス・マニュアル」の全面改訂を実施し、子会社を含む全役職員へ配布いたしました。今後もコンプライアンス意識の醸成を図り、企業価値の向上に努めてまいります。



地域での清掃活動

当社では地域への社会貢献活動をCSR活動の一環と位置付けており、事業所周辺の清掃活動などを定期的に行っております。
(写真は東京都豊島区「ごみゼロデー」の様子)



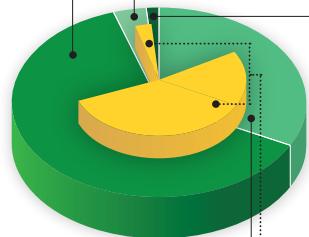
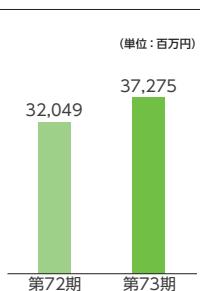
受注高	売上高	経常利益	当期純利益
59,603 百万円 < 前期比 6.1%増 >	56,905 百万円 < 前期比 3.7%増 >	3,385 百万円 < 前期比 59.0%増 >	2,237 百万円 < 前期比 81.2%増 >

受注高構成比 (総受注高に対する割合を示しています。)

産業設備工事

62.5% 37,275 百万円

当期は、産業機械および食品関連分野において大型工事を受注できたことから、前期を上回る受注高となりました。今後も当社の得意とする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注を推進するとともに、ライフサイクル貫ソリューションビジネスを実践し、お客様との関係強化に努めてまいります。



電気設備工事

3.5% 2,108 百万円

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



冷熱機器販売

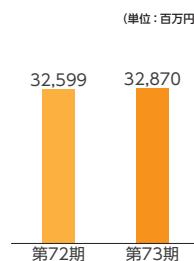
1.3% 748 百万円

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

設備改善工事

55.1% 32,870 百万円

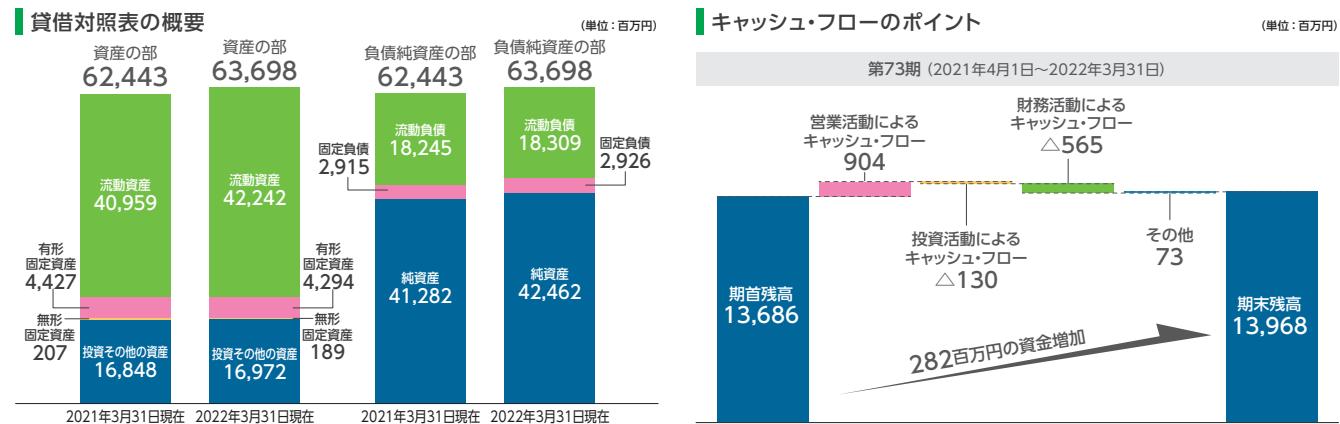
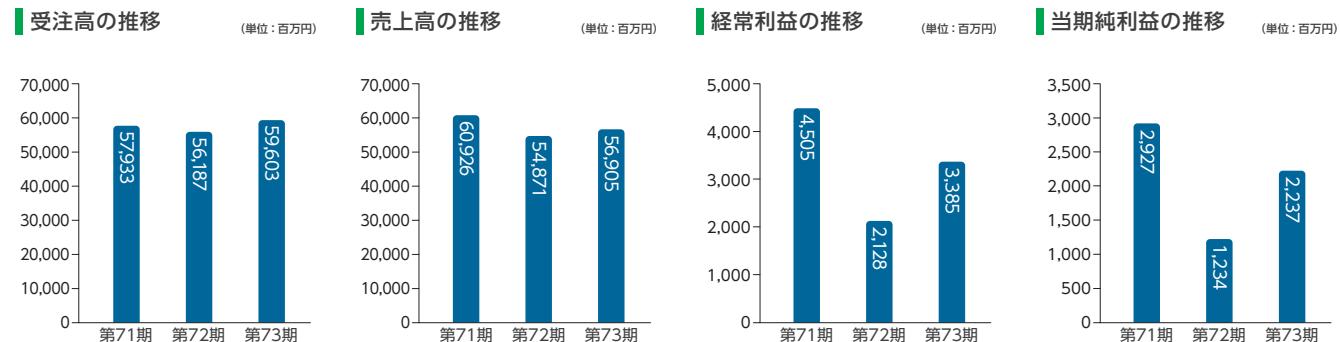
施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



一般ビル設備工事

32.7% 19,471 百万円

当期は、物流施設や医療関連施設などで大型工事を受注したものの、全体としては前期を下回る結果となりました。今後も継続的な設備の更新需要を取り込むとともに、学校や病院をはじめとするインフラ需要にも対応し、受注量の確保に努めてまいります。



財務のポイント

資産の部
流動資産における受取手形・完成工事未収入金等の増加13億円、電子記録債権の増加2億円、固定資産における退職給付に係る資産の増加4億円、投資有価証券の減少2億円を主な変動要因として、前期末と比較して12億円増加し、636億円となりました。

負債の部
流動負債における電子記録債務の増加6億円、未払法人税等の増加4億円、工事損失引当金の減少3億円、支払手形・工事未払金等の減少1億円を主な変動要因として、前期末と比較して7千万円増加し、212億円となりました。

純資産の部
利益剰余金の増加16億円、その他有価証券評価差額金の減少3億円を主な変動要因として、前期末と比較して11億円増加し、424億円となりました。自己資本比率は前期末と比較して0.6ポイント上昇して66.7%となりました。

キャッシュ・フロー
税金等調整前当期純利益の計上による資金増加33億円、売上債権の増加による資金の減少15億円、配当金の支払いによる資金の減少6億円を主な変動要因として、現金及び現金同等物は前期末と比較して2億円増加し139億円となりました。

詳しい情報はウェブサイトへ

テクノ菱和 検索

会社概要

商号	株式会社テクノ菱和 (英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設立	1949年12月23日
資本金	2,746,800,000円
上場	東京証券取引所スタンダード市場
従業員	744名(連結870名) ※2022年3月31日現在
本社	東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地	東京都港区芝大門2丁目12番8号

事業内容 当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業
- 太陽光発電事業
- 一般ビル設備関連事業
- 不動産賃貸事業
- 電気設備工事業
- 保険代理業
- 冷熱機器販売事業
- 建設資材製造販売業

主な事業所

技術開発研究所(神奈川県横浜市)	名古屋支店(愛知県名古屋市)
東京本店(東京都豊島区)	静岡支店(静岡県静岡市)
東関東支店(茨城県土浦市)	大阪支店(大阪府大阪市)
北関東支店(埼玉県さいたま市)	中国支店(岡山県倉敷市)
東北支店(宮城県仙台市)	九州支店(福岡県福岡市)
横浜支店(神奈川県横浜市)	海外事業部(東京都豊島区)

役員 (2022年6月28日現在)

取締役

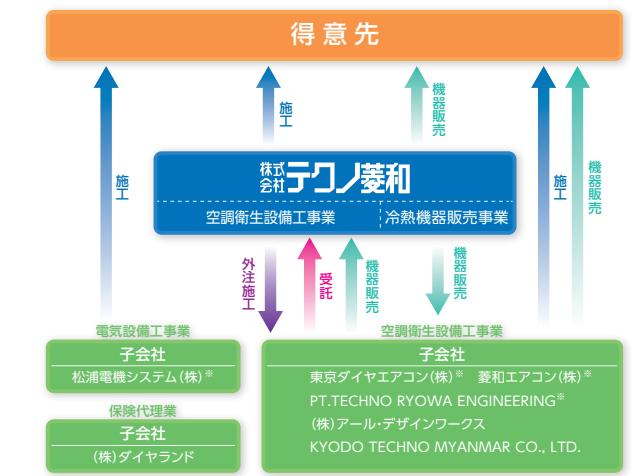
代表取締役	黒田 英彦
取締役	加藤 雅也
取締役	大石 勉
取締役	袴田 一博
取締役(社外)	武田 公温
取締役常勤監査等委員	常木 茂
取締役監査等委員(社外)	小坂井 千春
取締役監査等委員(社外)	飯高 弘史郎

執行役員

社長執行役員	黒田 英彦
常務執行役員	加藤 雅也
上席執行役員	黒田 長憲
上席執行役員	窪 和敏
上席執行役員	福士 富三
上席執行役員	大石 勉
上席執行役員	袴田 一博
上席執行役員	鈴木 俊夫
上席執行役員	伊豆丸 暢
執行役員	齋藤 吉信
執行役員	堀下 浩
執行役員	武石 義人
執行役員	武田 和夫
執行役員	水野 則康
執行役員	大塚 弘之
執行役員	菊池 智克

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイアエアコン株式会社* 所在地 東京都新宿区 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	株式会社アール・デザインワークス 所在地 大阪府大阪市 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社* 所在地 愛知県名古屋市 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	株式会社ダイヤモンド 所在地 東京都港区 主要な事業の内容 保険代理業
松浦電機システム株式会社* 所在地 大阪府守口市 主要な事業の内容 電気設備工事業	KYODO TECHNO MYANMAR CO., LTD. 所在地 ミャンマー連邦共和国 主要な事業の内容 建設資材製造販売業
PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING* 所在地 インドネシア共和国 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

ご優待品「特選茶」

株式の状況 (2022年3月31日現在)

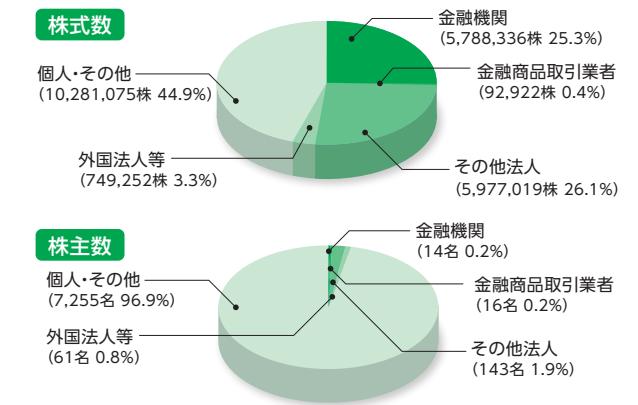
発行済株式の総数	22,888,604株
株主数	7,489名

大株主 (2022年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
テクノ菱和取引先持株会	2,348	10.7
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.5
株式会社三菱UFJ銀行	1,071	4.9
株式会社みずほ銀行	1,071	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	4.1
株式会社名古屋銀行	738	3.3
明治安田生命保険相互会社	734	3.3
テクノ菱和従業員持株会	725	3.3
株式会社京葉銀行	723	3.3
近重 次郎	672	3.0

※当社は、自己株式1,117,009株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 (2022年3月31日現在)



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単 元 株 式 数 100株

公 告 掲 載 U R L <https://www.techno-ryowa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸 手 続 き 【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】
お 問 い 合 わ せ 先 ●証券会社をご利用の株主様
 お取引の証券会社等にお問い合わせください。
 ●特別口座に記録された株式をご所有の株主様
 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。
【未受領の配当金について】
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせください。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替えください

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替えください。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<https://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL: 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT

